

講演会「エコロジーの新たな展開 — — 一人称エコロジーと自然の詩学」

Conférence: *L'écologie en première personne:
ou une poétique de la nature*

主催: 法政大学国際日本学研究所環境・自然研究会

講師: ジャン=フィリップ・ピエロン氏 (リヨン第3大学哲学部教授・学部長)
Jean-Philippe Pierron (l'Université de Lyon 3)

月日: 2016年6月13日(月)

時間: 18時30分—21時00分

場所: 法政大学(市ヶ谷)ポアソナード・タワー25階B会議室

司会: 安孫子信 (法政大学国際日本学研究所所員・文学部教授)

通訳: 松井久 (法政大学非常勤講師)

言語: 仏語 (通訳がつきます)

【要旨】

水の不足や枯渇であれ、砂漠化であれ、温暖化であれ、不可逆で回復不能な水質汚染であれ、環境の諸問題はわれわれに不安感を引き起こす。これは問題の深刻さや緊急性からして当然のことであり、そこから、これらの問題への罪悪感も生じてきて、われわれは、法的な、道徳的な、さらには哲学的な、意識の変革や行動へと導かれていく。こうして社会全体には、環境や自然が求めてくるものに応じて、自分たちの生活を律していこうという責任感が確立されていく。さて、こうして自然との関係を見直し、各人が自らの生活を律していこうとするとき、そこには、環境の倫理学の領域を出て、自然の詩学に基づく、一人称のエコロジーといったものが出現してくるのではないか。

【講師の最近の著書】

‘La mort et le soin’(2016、PUF)

‘Parole tenue. Colloque du centenaire Maldiney à Lyon’(2014、Mimesis)

‘Où va la famille’(2014、Les Liens qui Libèrent)

‘Les Puissances de l’imagination. Essai sur la fonction éthique de l’imagination’(2012、Cerf)

‘Repenser la nature. Dialogue philosophique, Europe, Asie, Amériques’(2012、P.U Laval)

※どなたでも参加いただけます。事前申し込み不要です。

法政大学国際日本学研究所

TEL:03-3264-9682

E-mail:nihon@hosei.ac.jp

http://hijas.hosei.ac.jp/

